

●兵士 強さ1 (5枚)

効果:対象のプレイヤーに「兵士」以外のカード名1つを宣言し、手札と一致したら脱落させる。

兵士は数が多く、強さも低いですが、協力者を特定できれば(恋文を没収して)相手も脱落させることができるとても重要なカードです。特に、後半になって強いカードを抱えている相手を倒すには、騎士よりもこちらのほうが効果的です。時には強いカードを捨てても、手札にとどめておくことが大事です。

※指定されたプレイヤーは、宣言が自分の手札と一致しているかどうかを「はい」「いいえ」で回答します。「はい」(指定と一致)の場合は脱落します。「いいえ」(指定と一致しない)の場合、カードを相手に見せる必要はありません。なお、ここで嘘をつくこともできないわけではありませんが、そのようにして勝つても姫の愛は得られないでしょう。

21歳 主に城の門衛として働く兵士。騎士ほどではないにせよ、真面目な仕事ぶりで知られている。

城外の人々と接する機会が最も多く、それ故に恋文を預かることも多い。あまりにも多い恋文に困った王から直接少し数を絞るように命じられており、他の者たちから恋文を没収するという切ない仕事を黙々とこなしている。

追加カード

下記の追加カード各種は、基本的にはセット内の同じ数字のカードと差し替えて遊んで下さい(王のカードのみそのまま追加してください)。

単に追加して遊ぶことも可能です。その場合は非常に派手なゲーム展開になります。

●王 強さなし (1枚)

このカードが手札にある場合、あなたは脱落する。

娘たちを溺愛する王に万が一恋文が見つかったしまった場合、それは即座に破り捨てられ、あなたは脱落します。

※ゲーム開始時にこのカードが配られてしまった場合、残念ながら即座に脱落します。

※このカードは5名以上で遊ぶ場合のみ追加することを強く推奨します。

48歳 この国を治める王。国民の信頼を集める名君なのだが、娘達を過度に溺愛しており、まだまだ彼女達を他人の元に嫁がせる気はない。

そんな彼が姫宛の恋文を目にした場合に何が起こるかは想像に難くない。

●王子 強さ8 (1枚)

このカードがあなただけに置かれた場合、あなたは脱落する。

このカードは通常のセットに含まれる姫と同じです。もしプレイヤーが男性に恋文を送りたい場合にご利用ください。

21歳 王の長男。自他ともに認める美形な上、性格も良く物腰柔らかという完璧な男子。優男だが剣の腕も立ち、王国の後継者として申し分ない素質を持っている。

様々な女性と噂となっているためプレイボーイと思われがちだが、実のところは運命の出会いを信じるロマンチスト。

●姫(眼鏡) 強さ8 (1枚)

このカードが手札にあるときに脱落した場合、山札からカードを1枚引いて復購する。

用心深い少女は、恋文を手にする、すぐに同じような恋文を用意して、本物はこっそり別者に預けます。こうすることで、万が一他の者に恋文の存在がばれて没収されても大丈夫なようにしておくのです。

※山札にカードが無いときに脱落した場合は、最初にゲームからよけたカードを引きます。

20歳 王の次女。他の3人とは母親が違い、やや遠ざけられて育ったためか他の姉妹に比べると内向的な性格。

一人で本を読むことを何よりも好み、いつも塔の一室に籠っては王宮に保管されている書物を読みふけている。眼鏡をかけているのは書物の読みすぎで目が悪くなったため。遠い国の恋物語を読み、ひそかに恋愛というものに興味を持っている。

●姫(ショート) 強さ8 (1枚)

このカードがあなただけに置かれた場合、あなたは脱落し、即座にゲームを終了する。

恋に恋する未婚は、恋文が自分の元に来るのをとても楽しみにしています。万一それを手放さなくてはいけないと泣いて喚び立てると大騒ぎとなり、恋文を託すどころの話ではなくなります。

16歳 姉妹の末の妹。いつも明るく元氣一杯で、お忍びで街を歩いている騎士や女官にお叱りを受けるおてんば姫。国民との距離が近いので、親しみやすさでは他の姉よりも上。姉に借りた恋愛小説を読み、自分に素敵な王子様が現れることを夢見、自に恋するお年頃。

●女僕 強さ7 (1枚)

手札の強さの合計が12以上である場合、あなたはこのカードを場に出さなくてはならない。

大団に似た効果ですが、脱落しないためプレイヤーに優しい効果となっています。そのまま持っただけでも非常に強力ですが、この効果をうまく利用することで、他のプレイヤーに手札を誤解させることもできます。

25歳 年が近いので、小さい頃から姫の友人として過ごしてきた上位貴族。

その若さながら非常に優秀な政治手腕を持ち、常に多忙なのだが、暇を見れば娘たちの話し相手になっている。

もし恋文が彼女から渡されれば絶大な信用を得られることは想像に難くないが、彼女が將軍や魔術師に見つかったりすると、溜まりに溜まっている書類仕事を片付けるようにしつこく言われるため、恋文を彼らに託してしぶしぶ仕事に戻る。

●伯爵夫人 強さ8 (1枚)

このカードは場に出すことができない。山札がなくなった時、あなたは脱落する。

このカードは場に出すことができず、そのまま持っているときに脱落してしまうという危険なカードです。不思議な誘惑から目を覚ますには、魔術師や將軍の助けが必要でしょう。ただし、他のプレイヤーを全員脱落させて愛を貰えば、彼女の心を掴むことができるかもしれません。

28歳 不思議な色香を持つ貴族の奥方。夫である伯爵が事故で不慮の死を遂げて以降、若い愛人を囲って放蕩の限りを尽くしているもっぱらの噂である。愛するものを見失い、自堕落に暮らす彼女の魅力の虜となってしまうか、それとも真実の愛で彼女の心を見まさせることができるかは、全て若者の行動次第である。

クレジット

発売元:株式会社アークライト



〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1 山善ビル6F 電話: 03-5283-9955

e-mail: b-game@arclight.co.jp

(メールに関するお問い合わせはこちらまでメールでお願いします。電話での質問にはお答えできません)

http://www.arclight.co.jp/ag/

(最新のFAQ、エラッタ等のサポート情報はQRコードまたはQRコードにてご確認ください)

ゲームデザイン: カナイセイジ

イラスト・デザインワーク: 杉浦のぼる

編集: 吉澤 淳郎 (アークライト)

DTPワーク: すずきあきら (アークライト)

©2014 Arclight, Inc.

©2014 カナイ製作所

※このゲームはフィクションです。実在の人物、団体とは一切関係ありません。



所要時間: 5分 プレイ人数: 2人~4人くらいまで

ストーリー

ここではない場所、今は違う時代、とある小さな王国に、美しい姫がいました。その姫は氣立てが良く、誰とも分け隔てなく接したため、国の皆から好かれていました。

そんな姫に心から惚れ込んだ若者たちは、姫の心を射止めるべく、恋文をしたためることにしました。城に仕える様々な者たちに協力を仰ぎ、自らの想いを姫に伝えようとする若者たち。彼らは一癖も二癖もある協力者達の力を使い、見事姫に恋文を届けることができるのでしょうか?

ゲームの概要

プレイヤーは姫に恋する若者となり、彼女の元まで恋文を届けようとしてみます。恋文を運んでくれるのは城に仕える様々な身分の協力者達(手札)。彼らは恋文を預かるだけでなく、協力者としてあなたや他のプレイヤーに対して影響を及ぼす効果も発生させます。

ただし、他のプレイヤーに、自分の協力者が誰であるかを推測されるような行動は避けなくてはなりません。なぜなら、他のプレイヤーは自分の協力者にあなたの協力者から恋文を奪い取らせ、ゲームから脱落させよう狙っているからです。

プレイヤーが保持できるのは、わずか1枚のカードのみ。それらを上手に選択し、見事姫、もしくは姫に最も近い者に恋文を託すことのできたプレイヤーが勝者となります。

カードデータの見方

各カードのデータの見方は次のとおりです。なお、テキストレスゲームカード(カード番号が下で始まるもの)には③のデータがありません。これらのカードは、すでにゲームに慣れた方がより大きなイラストを楽しみながらゲームをするためのものになります。

- ①名称 そのカードの名称です。
- ②強さ そのカードの地位の高さを数字で示したもので、大きいほど姫に近くなります。
- ③能力 そのカードの持つ効果です。
- ④能力アイコン カードの効果をアイコンで表現したものです。
- ⑤イラスト キャラクターのイメージです。
- ⑥枚数表記 そのカードが何枚存在するかを点で示します。
- ⑦カード番号



裏面(共通)

ゲームの準備

ゲームカード 16枚をひとまとめにして良くシャッフルし、テーブルに伏せて積みます。これを「山札」と呼びます。山札の上から1枚のカードを捨てたまま取り、脇によけます。このカードはそのゲームでは使用しません。(2人で遊ぶ場合は、さらに山札の上から3枚のカードを引き、それらを山札の脇に公開しておきます。これらのカードはゲーム中に推理の助けとなります。)

次に各プレイヤーは山札から1枚のカードを引き、手札とします。手札は他のプレイヤーに内容が分からないようにして下さい。

最後に、じゃんけんなど、もしくは付属の羽ペンタイルを使用して最初に手番を行うスタートプレイヤーを決めます。

羽ペンタイルの使い方

羽ペンの先をつまみ、テーブルの上 30cmほどのところから落とします。羽ペンの先が指し示す方向に座っているプレイヤーがスタートプレイヤーになります。



ゲームの手順

このゲームは「手番」と呼ばれる区切りで進行します。スタートプレイヤーが最初の手番を行います。そしてその後、手番は時計回りの順でプレイヤー間をめぐります。

手番プレイヤーは、山札の上からカードを1枚引いて手札に加えます。その後、2枚になった手札から1枚を選んで、場に出して公開します。

このとき、公開したカードの能力欄に「効果:～」と記されているなら、その指示に従います(必ず能力による効果を使用しなくてはなりません。「効果:～」と記されていない一部のカードは、公開したときには何の効果も発生しません。)

内容物

①ゲームカード	16枚
②追加カード	6枚
③一覽カード	4枚
④テキストレスゲームカード	22枚
⑤トークン	12個
⑥羽ペンタイル	1枚
⑦説明書(本書)	1枚

こうして公開したカードは捨て札となります。各プレイヤーは自分の捨て札を自分の前に、出した順番が分かるように表向きで並べていきます。これら捨て札は、他のプレイヤーが手札を推理するヒントにはなりません。

カードの効果を決したら、手番は終了します。次は、そのプレイヤーの左隣のプレイヤーが手番を行います。これをゲームの終了条件(後述)が満たされるまで繰り返します。

● 脱落したら

カードの効果によってあるプレイヤーが脱落した場合、脱落したプレイヤーは必ず手札を公開し、自分の捨て札に加えます。

● 「対象のプレイヤー」

カードの能力のなかには、「対象のプレイヤー」を指定するよう求めるものがあります。対象のプレイヤーを1人選ぶ場合、「自分」を対象として選ぶではいけません。

ゲームの終了と勝者

次の①②のどちらかの条件が満たされた場合、ゲームは終了します。

① 山札がなくなるとき

いずれかのプレイヤーが最後のカードを引いたら、その手番の終了時にゲームは終了します。この場合、脱落していないプレイヤー全員が手札を公開し、その中でカードがの強さが最大だったプレイヤーが勝者となります。

最も強いカードを持っているプレイヤーが複数いる場合は引き分けとなります。全員、もしくはそのプレイヤー同士でもう一度勝負を行って決着をつけるのも良いでしょう。

② 1人以上が脱落したとき

1人を除くすべてのプレイヤーが脱落したとき、ただちにゲームは終了します。この場合、最後まで残ったプレイヤーが勝者となります。

選択ルール1: カードの出し方

このゲームに慣れていないプレイヤーが多い場合は、手札の予想をしやすくするため、手番プレイヤーが「もともと手札に持っていたカード」と「その手番中に山札から引いたカード」のどちらを場に出したか、はっきり分かるようにプレイするとよいでしょう。

ゲームに慣れてきたら、どちらのカードを場に出したのか分からないようにすれば、より難しいゲームになります。

選択ルール2: 恋が実るまで

付属のトークンを使用することで、連続したゲームを楽しむこともできます。プレイヤーは1回のゲームに勝利することにトークン1個(=1点)を獲得します。引き分けのときは引き分けたプレイヤー全員が1点ずつ獲得します。そして最初に3点を獲得し、多くの恋文を届けたプレイヤーが姫の愛を得て本当の勝者となります。



ただし、もしゲームに勝利したプレイヤーの手札の強さが8(姫または伯爵夫人)であれば、そのプレイヤーは1点ではなく、2点を獲得します! なお、連続したゲームの場合、前のゲームで勝利し得点したプレイヤーが次のスタートプレイヤーとなります。

ゲームを選ぶ時間に合わせて、勝利に必要な得点を自由に変更してもかまいません。

カードの効果と説明

● 姫 強さ8 (1枚)

このカードがあなたの捨て札に置かれた場合、あなたは脱落する。

若者たちの憧れである姫です。このカードを握ったら、無事あなたの恋文は姫の手元に届いたといえます。しかし、そこで安心してはいけません。

恋が実る(ゲーム終了)まで、恋文のことは秘密にしなければならぬのです。「魔術師」にこのカードを捨てさせられたり、「兵士」に指摘されたりしたら、姫は泣く泣く恋文を捨て、あなたは脱落します。

※騎士や道化の効果でカード内容を見られたときには問題はありません。

22歳。三姉妹の長女。王の子としては最年長。小さい頃から弟妹の面倒を見てきただけあって非常にしっかりしている。

文武両道・明朗快活・質実剛健と非の打ち所が無い才女で、各国から政略結婚の話は絶えないが、それら全てを様々な理由をつけて断っている。

人前では毅然とした態度を崩さない彼女だが、心の奥底では自分を優しく受け止めてくれる男性の出現を心待ちにしている。

● 大臣 強さ7 (1枚)

手札の強さの合計が12以上である場合、あなたは脱落する。

姫に次いで強力な(地位の高い)、心強いカードではあるのですが、このカードを保持するには危険が伴います。山札から別の強い(地位の高い)カードを引いてしまうと、彼はその者(場合によっては本人!)と相談した挙句に時期尚早として恋文を破いてしまうのです。なので、あえて捨て札にしてしまうのも1つの手です。

※もちろん、強いカードを持っているときにこのカードを山札から引いてしまっても脱落です。

53歳。王宮内の様々なことを取り仕切る有能な官僚。

見た目は梅そうだが、実のところ姫たちを自分の娘のように大事に思っている。政略結婚も含め、姫たちには最良の相手を選ぶべくはならぬという使命感を持っており、恋文を渡すときには消極的。

相談できる程度に地位の高い者と会う機会を得ると、まだ時期尚早として恋文をこっそり処分してしまう。

● 將軍 強さ6 (1枚)

効果:対象のプレイヤーと手札を交換する。

カードとしての強さも高く、特にペナルティもない優れた協力者です。あまりに無骨なため、恋文の渡し先を取り違えてしまうのが特徴ですが、これは強力なカードを手にも入れるチャンスであると同時に、自分の手札の内容を相手に教えてしまうことにもなります。自分のカードを相手に渡したときに何が起るかをよく考える必要があります。

47歳。無骨な武人。若い頃から王国に剣を捧げ、その武勇と指揮能力で数々の危機を乗り越えてきた有能な軍人である。

だが、武勇を磨くことに邁進してきたが故に色恋沙汰とかには疎く、もちろん自身も恋文を託されると、使命感で舞い上がってしまい、うっかり変な相手に託してしまったりする。

⚠ 注意(ちゅうい)

- お買い上げの皆様へ 必ずお読みください
- 小さな部品があります。口の中へは絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 3歳以下のお子様には絶対に与えないでください。また使用後は3歳以下のお子様の手の届かない場所に保管してください。

対象年齢:10歳以上

● 魔術師 強さ5 (2枚)

効果:あなた、もしくは対象のプレイヤーは手札を捨て札にし、山札からカードを1枚引く。

魔術師は協力者を強制的に別の人にするという非常に強力な能力を持っています。「姫」のカードを捨てさせればそのプレイヤーは脱落しますし、相手の目論見を崩すようなこともできるでしょう。ただ、このカードもかなり高い強さを持っており、使いが保持するが悩ましいところです。

※この効果で捨て札になったカードの「効果」は発生しません。

※山札が枯渇しているときにこの効果で手札を捨て(させられ)た場合は、山札の代わりに最初にゲームから捨てた1枚のカードを引きます。

?歳。強大な魔力を持ち、様々な魔法を操って王国の発展に尽くしてきた功労者だが、本人は研究にしか興味が無く、めったに自分の部屋から出てこない。

気質は穏やかで、恋文を預かること自体は快く引き受けるのだが、自分の研究に熱が入っていると渡しにくいのが面倒になり、適当に転送魔法をかけて別の者の元へ飛ばしてしまったりする。

● 僧侶 強さ4 (2枚)

効果:あなたの次の手番まで、あなたへの効果を無効にする。

僧侶は秘密を守り、しばらくの間あなたの恋文とそれを託した相手を守ってくれます。ゲーム中において最もメリットのある効果と言えるでしょう。

※このカードの効果を受けているプレイヤーを「対象のプレイヤー」に選ぶことはできません。ただし、効果は発生しません。

23歳。物静かでしつやかな僧侶。いつも微笑みを絶やさず、困って彼女を頼る者たちこそその悩みを解決する糸口を与える優しい女性。

僧侶を聞くことが多い故に口には堅く、預かった恋文に関しては絶対に秘密を守る。万が一彼女を怒らせるとどんなに偉い人でも、あまり深い追求が出来るという話もある。

● 騎士 強さ3 (2枚)

効果:対象のプレイヤーとあなたの手札の強さを密かに比較し、強さの小さい方を脱落させる。

恋文の数を絞るため、協力者同士を引き合わせて地位の低い(強さの小さい)方に諦めさせます。お互いに手札を交換して確認し、強さの小さかったプレイヤーは脱落を宣言します。

このカードを使用するときに気をつけなければならないことは、他のプレイヤーたちが勝敗の行方を伺っているということです。

※お互いのカードの強さが同じであれば、何も起こりません。

26歳。真面目が帯を着て歩いているような青年。職務に忠実で、城内の多くの者から信頼されている。

城内に複数の恋文が送られてきていることを知ると、自らが縁であって預かった恋文の送り主の恋を成就させるべく、他の恋文の持ち主へと交渉に赴くが、時にはそれが裏目に出てしまうこともある。

● 道化 強さ2 (2枚)

効果:対象のプレイヤーの手札を見る。

道化の効果は実にシンプルです。相手のカードを確認し、戦略を考えることができます。「兵士」などと組み合わせることができれば、相手も脱落させるチャンスが生まれます。逆に、もしあなたがこのカードを使われたら、次の手番で手札を捨ててしまわなければ危険です。

※手札を見ることができるのは、このカードを使用したプレイヤーのみです。

※自分が見た内容以外のプレイヤーに教えてはいけません。

33歳。宮廷で芸を披露し、職務に疲れた城内の者たちの心を和ませる道化。憎めない人柄で、誰からも好かれている。

彼には皆がついつい口を滑らせてしまうので、城内に紛れ込んだ恋文の行方について非常に良く知っている。